

資料 3 先行調査

アルファベット順。2010年8月に入手できたもののみ。ホームページアクセス年月日は省略した。

① 女性研究者支援モデル育成採択機関の調査

- 秋田大学男女共同参画推進専門委員会，2007，『男女共同参画推進に関する意識調査報告書』，
<http://www.akita-u.ac.jp/honbu/danjyo/contents/1903%20report.pdf>.
- 千葉大学両立支援企画室，2009，『千葉大学における両立支援ニーズ調査報告書』，
http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/common/pdf/invest_h20.pdf.
- 独立行政法人産業技術総合研究所，2006，「別紙 男女共同参画推進に関するアンケート調査結果」『産業技術総合研究所男女共同参画の推進策』：27-57，<http://unit.aist.go.jp/gender/ci/data/2005survey-summarized.pdf>.
- 独立行政法人森林総合研究所男女共同参画室，2009，『森林総合研究所における男女共同参画意識調査報告書』，独立行政法人森林総合研究所男女共同参画室.
- 岩手大学男女共同参画推進室，2010，『岩手大学男女共同参画に係るアンケート（平成21年11月）～結果概要～』，
http://www.iwate-u.ac.jp/gender/katsudou/file/res_200911.pdf.
- 金沢大学男女共同参画推進委員会，2008，『金沢大学男女共同参画に関する提言書—男女共同参画に関するアンケート調査の結果を踏まえて』，
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_jinji/danjo/teigensyo.pdf.
- 慶應義塾大学ワークライフバランス研究センター，2009，『慶應義塾大学教員のワークライフバランスと男女共同参画に関する調査』，http://www.wlb.keio.ac.jp/project/doc/H20research_WLB.pdf.
- 神戸大学男女共同参画推進室，2008，『神戸大学教職員の男女共同参画に関する意識調査報告書』，
<http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/data/pdf/ishikityousa080627.pdf>.
- 国立大学法人熊本大学，2009，『「女性研究者支援モデル育成事業」に係る熊本大学男女共同参画意識調査』，
<http://gender.kumamoto-u.ac.jp/data/report20090323.pdf>.
- 国立大学法人東京農工大学女性キャリア支援・開発センター，2008，『事業紹介／平成19年度活動報告』，国立大学法人東京農工大学女性キャリア支援・開発センター.
- 一，2009，『事業紹介／平成20年度活動報告』，国立大学法人東京農工大学女性キャリア支援・開発センター.
- 京都大学男女共同参画企画推進委員会，発行年不記載，n.d.，『「京都大学男女共同参画推進に関する意識・実態調査」報告書』，
http://geco.adm.kyoto-u.ac.jp/activity/chosa_zenbun.html#001.
- 九州大学高等研究機構女性研究者支援室，2008，『研究者養成のための支援ニーズ調査結果の概要』，
http://sofre.kyushu-u.ac.jp/sofre_files/needs.pdf.
- 名古屋大学男女共同参画推進専門委員会・男女共同参画室，2009，「2008年度男女共同参画推進に関する部局アンケート結果」『名古屋大学における男女共同参画報告書2008年度』：120-126，名古屋大学男女共同参画推進専門委員会・男女共同参画室.
- 日本大学 研究委員会男女研究者共同参画専門部会 女性研究者支援推進ユニット，2008，『日本大学における男女共同参画に関する意識調査（2008年度）』，
<http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/>.
- 日本女子大学女性研究者マルチキャリアパス支援プロジェクト推進室，2008，『日本女子大学家政理学科・理学部卒業生にみる「マルチキャリアパスアンケート」結果報告書』，
<http://mcm-www.jwu.ac.jp/~mcpweb/research/img/report.pdf>.
- 岡山大学ダイバーシティ推進本部，公表年不明，『岡山大学の男女共同参画推進に関するアンケート調査結果速報』，
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/sannkakushitu/sankaku/sankaku.html>.
- 大阪大学多様な人材活用推進委員会・女性研究者キャリア・デザインラボ，2010，『平成21年度大阪大学の常勤教員

の実態と意識に関するアンケート—大阪大学のワーク・ライフ・バランスをめざして—調査結果報告書』, 大阪大学
女性研究者キャリア・デザインラボ.

島根大学男女共同参画推進室, 2009, 『国立大学法人島根大学男女共同参画に関する意識調査アンケート集計結果』,
<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/article/001/report.pdf>.

静岡大学男女共同参画戦略ワーキンググループ, 2008, 『静岡大学における男女共同参画に関する意識・実態調査結果報告
書』, <http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/rinkpdf/kekkahoukoku200811.pdf>.

東北大学男女共同参画委員会, 2006, 『男女共同参画委員会報告書 平成18年度』,
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/houkokusyo/H18.pdf>.

東京大学男女共同参画オフィス, 2010, 『東京大学女性研究者アンケート調査結果報告書』,
<http://kyodo-sankaku.u-tokyo.ac.jp/Office/WhitePaper/documents/QuestionnaireforFemaleResearchers.pdf>.

東京大学大学院理学系研究科・理学部, 2009, 『理学系研究科男女共同参画アンケート集計結果』,
<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku.html>.

東京医科歯科大学女性研究者支援室, 2010, 『研究室環境調査結果のご報告』,
http://www.tmd.ac.jp/mri/ang/act/inquiry/20100315_00.pdf

筑波大学男女共同参画推進室, 2009, 『男女共同参画アンケート調査結果報告—ダイジェスト版—』,
http://www.tsukuba.ac.jp/about/kyoudousankaku/pdf/anq_result.pdf.

早稲田大学男女共同参画推進室・女性研究者支援総合研究所, 2008, 『研究者養成のための男女平等プランに関する調査
(5) 男女共同参画推進に関する意識・実態調査2008年度教職員調査報告書』, 早稲田大学男女共同参画推進室・女性研
究者支援総合研究所.

山形大学男女共同参画推進準備室, 2009, 『男女共同参画に係るアンケート調査集計結果の概要』,
<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/old/d-file/20090225.pdf>.

山形大学男女共同参画推進室, 2010, 『平成21年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事
業「山形ワークライフバランス・イノベーション」第2部男女共同参画に係るアンケート結果報告書』,
[http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/newsletter/pdf/pdf20100331/dai2buanke-to.pdf/y21report2\(full\).pdf](http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/newsletter/pdf/pdf20100331/dai2buanke-to.pdf/y21report2(full).pdf).

② 他調査・資料等

男女共同参画学協会連絡会, 2008, 『平成19年度「科学技術系専門職における男女共同参画実態の大規模調査』』,
<http://annex.jsap.or.jp/renrakukai/>.

米澤彰純編, 2007, 「第2部大学教員からみた都市と大学「大学教員の生活実態に関する調査」から『都市と大学の連携・
評価に関する政策研究—地方分権・規制緩和の時代を背景として—』93-231, 平成17-18年度科学研究費補助金基盤研
究(C)研究成果報告書, <http://www.she.he.tohoku.ac.jp/yonezawa/TKP2.pdf>.

原ひろ子編, 1999, 『女性研究者のキャリア形成：研究環境調査のジェンダー分析から』, 勁草書房.

加野芳正, 1988, 『アカデミック・ウーマン—女性学者の社会学—』, 東信堂.

登谷美穂子・坂東晶子, 1985, 「研究者の活動量とライフサイクル」『科学』4月号:244-249, 岩波書店.

塩田庄兵衛編, 1984, 『婦人研究者のライフサイクル調査研究V “アンケートによる実態調査”の分析』, 文部省科学研
究費総合研究A(広領域)研究成果報告書, 立命館大学.

Northern California Higher Education Recruitment Consortium (HERC), 2010,

“Resource Center > Relocation Resources”, http://www.norcalherc.org/site/730/res_dualcareer.cfm?site_id=730.

10、おわりに

これまで、今年度の「男女共同参画に係るアンケート調査」について、調査方法、回答者のプロフィール、ライフ、ワーク、ワークライフバランス、次世代研究者の育成、取り組みの周知度、自由記述など、調査結果をまとめてきた。

最後に、過去2年度に引き続き、「男女共同参画に係るアンケート調査」に多くの方々のご協力を頂いたことに感謝申し上げたい。

調査表作成の段階では、各部局の男女共同参画推進員の方からコメントを頂くことができ、昨年度調査から修正を行うことができた。また、他大学・機関において、同様の調査を行っているため、調査表・調査結果を郵送頂き、参考にさせて頂いた。

調査の実施段階では、特に各部局の総務担当の職員の方々にお世話になった。他業務でお忙しい中、全教職員・大学院生という大変多くの人への配布と回収に協力頂いた。

また、なにより貴重な時間を割き、調査に回答頂いた調査対象者の皆様に感謝申し上げたい。8ページにわたり、多くの調査項目があるため、回答に時間がかかる調査表であり、また過去2年度も同様の調査をしているため、回収率が大幅に下がることも予想された。また今年度は昨年度と違い大学院生も調査対象に含めているため、どのくらいの人にご協力いただく事ができるか不安な面もあったが、結果として合計1862人という大変多くの方から回答を頂いた。

平成21年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業は、来年度が3年目であり、事業最終年度となる。今回のアンケート結果を、来年度、また事業終了後の山形大学男女共同参画推進室の活動を考える際の資料としたい。
(男女共同参画推進室 調査担当 坂無淳)

平成22年度文部科学省科学技術振興調整費
「女性研究者支援モデル育成」事業
「山形ワークライフバランス・イノベーション」

第2部 平成22年度男女共同参画に係るアンケート結果報告書

2011年3月発行

発行 山形大学男女共同参画推進室

連絡先 〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

Tel 023-628-4937,4938,4939 Fax:023-628-4014

URL <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

E-mail danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp